



埼玉支部報 第20号

【目次】

4月第7回「ふれあい登山」天覧山多峯主山	1	安全登山講習会「登山で事故！さあど	
第5回大高取山自然観察会実施報告	2	うする！！」	10
「山の日」制定記念 特別講演会報告	2	登山教室指導者養成講習会から学んだ	
忘年山行「秩父両詰山・猪狩山」報告	4	こと	11
新年山行「秩父日向山」に参加して	5	3月山行委員会「弓立山」報告会	12
第6回シンポジウム「埼玉の自然」報告	6	平成29年度事業予定(案)	14
1月山の日制定記念安全登山委員会講演		自然保護委員会へのご案内	15
「どのやまでも登山届を出そう」報告	7	平成29年度支部総会のお知らせ	15
自然保護委員会「第3回自然観察会」報告	8	埼玉支部スキー同好会報告	16
2月四季の山・冬山「霧ヶ峰・蓼科山」	9	埼玉支部会員/会友在籍者数及び異動	16

第7回「ふれあい登山」を下記のとおり開催します。奮って参加ください。

社会貢献委員会

障がいがある人もない人も、
一緒に登ろう・歩こう・春の自然を楽しもう！

ふれあい登山

天覧山(てんらんざん・195m)
多峯主山(とうのすやま・270m)
吾妻峡(あずまきょう)

歩行時間4時間(ゆっくりペース。休憩含まず)★歩行距離 約10.2Km

平成29年4月9日(日)

○集合：東飯能駅西口 9時40分

★駐車場情報
飯能市役所(無料・東飯能駅東口徒歩7分)、
他に飯能駅周辺に有料駐車場あり

○対象者：山道の登り下りが可能な障がい者と家族・付添者
○募集人員：40名
○参加費：一人300円(保険料含む。当日現金)
○申込み締切り：平成29年3月16日(木)
参加者には事前に詳しい案内をお送りします

＜コース＞
東飯能駅～天覧山～多峯主山～吾妻峡(河原を歩きます)～飯能河原～東飯能駅(飯能駅)解散

東飯能駅西口に集合し徒歩に出発。30分ほど歩くと飯能市街が見渡せる天覧山中段に到着。ここで開始式を行う。ここまでは天覧山まではすぐだ。駅前のビルや富士山が見渡せるので山頂はいつも登山者で賑わっている。多峯主山へ入った下り。当は田んぼだったという灌漑帯に出るが道が整備され気持ちの良い山歩きが楽しめる。多峯主山頂までゆっくりでも50分程度。ここで昼食。春の景色を楽しもう。次の目的地は吾妻峡の河原歩き。市街地に近い場所にこんな美しい河原があるのは驚きだ。吾妻峡の河原を30分ほど歩くと、県道沿いの歩道にでる。春の山村風景を楽しむながら進むと、飯能市民の憩いの場として整備された飯能河原に到着する。春のここで解散式。いつものことだが、全員で撮る集合写真の笑顔に出会えるのが楽しみです！

主催：一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会・公益社団法人日本山岳会埼玉支部

申込・問合せ
一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会
〒330-0074
さいたま市清和区北清和 5-6-5
埼玉県清和合同庁舎3階
電話：048-822-1120
Fax：048-822-1121
Mail：2004@sainokuni-sasa.or.jp
※FAX申込の際は必ず電話の電話をお願いします。




※埼玉支部会員・会友で参加希望の方は、直接社会貢献委員会大久保春美委員長までお問合せ下さい。

第 5 回大高取山自然観察会実施報告 (11/27)

自然保護委員会

当日は午前 9 時越生町の報恩寺境内をお借りして午前 9 時から開会式を行い、開会挨拶、来賓祝辞、ご紹介、開会趣旨及び行程説明、救護班医師・金子宏紹介、実行委員長挨拶が行われ、準備体操を越生町のラジオ体操公認指導員金子典子氏指導の下行い大高取山に向かった。



大高取山山頂にて

班は 5 班に分け 1 班 5 名の少人数とし、観察会の目的である。

①地学 (八王子断層・越生断層・伏在断層・クリッペ・堆積岩・変成岩など) 関東山地東縁 (河岸段丘) ~丘陵地形~洪積台地~沖積平野など。

②植物 (越生神社のイヌシデ・サカキ、ヒサカキ比較・里山の草木本・スダジイ・アリドウシ・モミノキ・フユイチゴ・ウラジロ・タブノキ。コシダ・ジウガツサクラなど) 越生神社 (オオハナワラビ) と(アカハナワラビ) 暖地性植物がこの地に多いのかを勉強しましょう。ユズの商業産地桂木地区は毛呂山町。

③史学 (法恩寺・越生神社・桂木観音・虚空蔵尊) 越生一族や行基のことなど。修験道に因む子ノ権現のことや、お寺には、水脈が必

ずあるのは、何故など？

それぞれの特出ポイント地点があり、リーダー&サブリーダーが解説を担当した。又新たに植物の特出ポイント地点にクリアファイルに標本写真と解説書を置くことにし、必須事項が参加者に伝わるよう工夫した。



シダ植物「フユノハナワラビ」の観察

途中白岩様手前で参加者の一人が術後の右脚不調を訴えたアクシデントがあったが、金子医師から応急手当が施され、ルートを短縮し頂上に全員とほぼ同時刻に到着し、支障なくその後下山した。今回は先頭と最後尾にトランシバーを配置し遅滞なく緊急態勢がとれた。

午後 3 時無事出発地である法恩寺に元気に集合し閉会式後解散となった。

なお、越生町は 6 月に「ハイキングの町」を宣言、第一回の月例ハイキング大会は大高取山展望コースで行われたことを付記します。

自然保護委員長 高嶋徳絃

「山の日」施行記念事業

特別講演会

「北岳周辺での登山・山小屋事情と変遷」

☆白根御池小屋の歴史や、小屋周辺の花々・南アルプス北部の山々の紹介と近くで発生した山の事故の傾向と対策☆

安全登山委員会

期 日:平成28年12月7日(水)19:00~21:00、

場 所:浦和コミュニティーセンター10階第13

集会室

出席者: 日本山岳会会員(28名) 県内外山岳
会・一般(21名) 計49名

講師: 白根御池小屋管理人・埼玉支部安全登
山委員会所属 高妻潤一郎氏

【講演内容】

白根御池小屋管理人である講師の高妻潤一郎氏は、2,230mにある小屋の歴史や登山者の様子、小屋の近くで咲く花々、山岳遭難救助にかかわってきた話等映像を通して分かり易く講演した。

参加した49名はメモを取るなど熱心に聴講し、講演終了後に講師へ質問する参加者の姿もあった。以下は当日ご提出いただいたアンケート・感想です。



高妻潤一郎氏

【アンケート・感想】

○本日の講演内容について

- ・事故は何でもない下りで起こることが分かり、注意していかなければいけないと思った。(30代女)
- ・ツアーパーティー、単独の事故、遺体の収容などのアクシデントは悲しいことです。マナーを守れない人が多く入山して居ること。動・植物などについて色々勉強になりました。(50代女)
- ・とても勉強になりました。写真もきれいで時折高山植物を入れていただいたり、構成も素晴らしかったです。(50代男)
- ・最近の登山事情に驚くことが多く、参考になる話があって面白かった。(50代男)

- ・様々な事故、トラブルがあり、管理人さんのご苦労が良くわかりました。(50代男)
- ・事故についての話と花の説明が良かった。(60代女)
- ・民間のへりは救助できないことを知りました。何でもないところでの事故が多い。救助隊の苦勞、身勝手な登山者が増えてきたなど、耳にしたくない話が聞けて良かった。(60代女)
- ・いろんな遭難、事故ケガの話が経験談で勉強になりました。(60代女)
- ・来年北岳に行きたくて聞きに来ました。事故の多いことにびっくりしました。気を引き締めて山登りを楽しみたいと思いました。(60代女)
- ・盛りだくさんのお話聞き逃さないようにと楽しく聞きました。(60代女)
- ・大変興味深かった。(60代女)
- ・メリハリのある講演会でした。講師の話術に引き込まれてしまい、中身の濃い話と思いました。良かった。(60代男)
- ・グループで登山する場合は、離れないでグループで思いやりながら行動することが一番の安全である。(60代男)
- ・よかったです。(60代男)
- ・ネット登山の問題点、個人山行の危うさを痛感しました。(60代男)
- ・遭難の例がいろいろ聞けて良かった。(60代男)
- ・大変良かった。参考になることが多くあった。(70代女)
- ・事故事例の紹介は非常に良い。何時何でもない所で遭難が起きるのかと。その対策を知りたい。(70代男)

○今後の講演内容の希望について

- ・今回と同じ内容でもいいと思います。いろいろ参考になりました。改めて自分も思う次第です。(50代女)

- ・遭難を体験された人のお話を聞いてみたいです。(50 代男)
 - ・実例を踏まえた話が聞いていて勉強になると思う。(60 代女)
 - ・今日のようなテーマが良いと思います。ありのまま。(60 代女)
 - ・高妻さんのお話、2, 3 年後にまた聞きたいです。(60 代女)
 - ・今日のような山域をテーマにした山岳事故はよい実例。(60 代男)
 - ・次回も参考例を希望したいです。(60 代男)
 - ・地形図(60 代男)
 - ・山のトイレ、シカ問題。クマとハチ対策(60 代男)
 - ・登山装備の話も聞きたい。(60 代男)
 - ・高齢者として山に登る力。(70 代女)
- アンケートご協力ありがとうございました。

**平成 28 年度忘年山行・忘年懇親会に参加
して 秩父 両詰山・猪狩山 (1/14)
【山行グレード☆】**

記：湯村光典

11 月の中ごろ、宮崎稔氏から「今年の忘年山行に参加しよう！」と電話があり、私がつれない返事をする、「湯村さんは JAC に入会して永いのだから、一度くらいは皆に顔を見せなくてはだめだよ」と強く諭されて今回参加することになりました。

12 月 10 日（土）宮崎氏の車に同乗させてもらい登山口の日向大谷へ向かう。途中、コンビニで今日の昼飯を買い、日向大谷に着いたのが 9 時 30 分。支部会員の皆さんが到着するまでは時間がたっぷりあるので、宮崎氏は車のトランクからコッフェルとガスコンロを取り出し「あんまんと肉まんでも食うかい？」と言いながら手馴れた手つきでコッフェルの中にペットボトルの水を入れ、あんまんと肉まんを放り込んでいた。晴れた空に冬桜が咲き、

ゆずがたわわに実った日向大谷の風景を眺めながら頬張るホクホクのあんまんと肉まんは実に美味しい。

そうこうしているうちに本隊が到着。全員が揃ったところで準備運動をして、今日の目的の山、両詰山に向かう。私はしんがりから 3 番目を歩く。単独登山が多い私は団体登山は初めてだったので、皆さんのペースについて行けるか若干の不安があったが、私には丁度よいペースだ。

尾根筋に出るまでの桧が植林された急登を難なくこなして、冬枯れの尾根道に出ると冷たい北風が強く吹き付けて、汗ばんだ身体を冷やす。檜沢峠で脱いでいたヤッケを着て寒さをしのぐ。ここは私が若い頃、納宮から両神山に登る時に使った道なので懐かしいが、今は通る人も少なく、その登山道は落ち葉に埋もれていた。振り返ると木立の向こうに両神山、北には二子山の姿が見えて疲れた体を癒してくれた。穏やかな尾根筋の登山道は歩きやすく、足取りも自然にだんだんと軽くなった。



両詰山登頂を終え

午後 1 時過ぎに全員揃って山頂に到着。山頂は桧が植林されていて展望はないが、三等三角点の石柱と桧に縛り付けてある可愛い山名板が私たちを迎えてくれた。

私は少し遅い昼食（おにぎり）を頬張りながら、三角点石柱と山名板をカメラに納めたが、腕が悪いのか古いカメラのせいなのか、

あまり上手に撮れていなかった。昼食後、全員で記念写真を撮り、登山口の日向大谷に安全に下山した。



猪狩山へ

下山後の国民宿舎両神荘での忘年懇親会は、支部会員の皆さんの和気あいあいとした雰囲気の中で、私は自然と打ち解けて、楽しいひと時をすごすことができ、ありがとうございました。また、安全登山ができたことに感謝します。

新年山行に参加して 秩父 日向山

【山行グレード☆】

記：米山英三

古川さんのご好意で高麗川駅にて待ち合わせ、車に便乗させていただき芦ヶ久保駅に向かいました。埼玉支部に入会し最初の山行になりました。とても寒い1日でしたが、参加者28名の暖かい仲間に迎えていただき楽しく歩くことができました。

冬の日向山は初めてでしたが、直前に降った雪で予想外の雪山ハイクです。冬枯れの雑木林の中を登り、振り返ると雪をまとった武甲山が間近に迫り、迫力満点です。ちょっと大げさですが、スイスアルプスのアイガー北壁の様相にびっくりしました。

山頂では、三々五々フカフカの落ち葉に座り、昼食をとりました。眺めは最高で、雪をつけた武甲山、大持山、武川岳のパノラマを楽しみました。



日向山山頂にて

雪のついた少し急な斜面を慎重に降り、木ノ子茶屋を経てのんびりと芦ヶ久保駅に下山しました。その後、西武秩父駅に移動し、松本支部長以下一同秩父神社で安全登山祈願のお祓いを受けました。埼玉支部では、毎年このような行事を行っているとのことですが、安全登山に対する想いや姿勢が感じられました。

いよいよ一番楽しみにしていた秩父の老舗の名料理屋である「妙見」での新年懇親会です。美味しい料理や体も心も温まる旨い地酒に舌鼓を打ち、何にもまして皆さんとの楽しいお話に盛り上がり、つくづく参加してよかったと思いました。

年齢を考えるとちょっと気が引けるような新入会員ですが、今後はできるだけ山行などに参加したいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

今回は、私の歓迎山行のようなことになりました。本当にありがとうございました。

編集部より・・・米山さんは、昨年日本山岳会主催の新入会員オリエンテーションに参加され、その席で荒井真二会員に埼玉支部入会を勧められ、12月に入会された方です。大学時代山岳部に所属され、今も北アルプスや近郊の山を歩いておられます。新年山行の後、四季の山・冬山の霧ヶ峰、蓼科山山行にも参加され、年齢を全く感じさせないお元気な歩きぶりを見せておられました。お酒の席が大好きで、甘い

ものにも目がないという気さくな方です。これから一緒に山歩きを楽しみましょう。

第 6 回 シンポジウム

埼玉の自然を知ろう (1/19)

自然保護委員会 記：高嶋徳紘

平成 29 年 1 月 19 日 (木) 18 時 30 分～21 時浦和パルコ 10 階第 8 集会室に於いて、一般参加者 3 名 (NP0 埼玉フレンド会員) を含め 19 名で開催された。今回も日本山岳会自然保護委員長、川口章子氏も出席された。

当日のテーマとして①高尾 GC 登山道&森造り・森づくりの 1 年 ②山地・丘陵地帯におけるシカ (野生獣) 食害をどう捉えるか ③玉原のブナ林・湿原観察会の 3 テーマが担当者から報告された。次に、本日のメインテーマの④「大高取山の自然から学ぶこと」について小論文が披露され、その要約を次に記す。

第 1 部 縄文海進から海退後の埼玉の地学的考察

約 6000 年前、縄文前期に、秩父の山地が沈降し、奥秩父まで海になり、秩父湾ができたこの頃堆積した地層を、地域の名を取り「彦久保層」と名付け、特定したものである。

その頃から今日までの変化は、様々な証拠 (化石や露頭・ボーリング調査や放射年代測定) から現在ではかなりの精度で特定できるようになった。そこで

★地質から見た環境の変化を示す 4 つの地層群から、どのように埼玉の地質、地層が変化して来たかを考察したものを、別記に示した。

- ① 彦久保層群 (海進してきた頃) ② 小鹿野町層群 (海底扇状地が出来た頃)
- ③ 秩父町層群 (暖流侵入の頃) ④ 横瀬町層群 (山地の隆起、断層、海退)

ここでは、①～④迄、即ち、海退まで

の地層の変化を説明し、海退後約 1500 万年に及ぶ風化・浸食を経て、今の秩父盆地が形成され、荒川やその支流の赤平川の河岸段丘に人々が住むようになった地形的変遷など。

- ① 海進した頃の彦久保層群が堆積した後期に、秩父湾の東部に断層運動が始まり、出牛―黒谷断層 (逆断層) が活動し始めた。
- ② 海底扇状地は西側の山地の隆起により、海底は東に傾きながら沈降したため、海底地すべり (スランプ構造) を起こしながら、堆積していった。出牛―黒谷断層の東側の地盤は逆断層で隆起を続け高まりを形成するようになった、これらを小鹿野町層群と呼んでいる。
- ③ 暖流が侵入してきた頃に小鹿野町層群の上に秩父町層群が堆積、海退と共に海面降下があり、秩父盆地の原型がこの頃に出来た。尚、出牛黒谷断層の東側は隆起を続け、三波川結晶片岩が海面下から現れたのもこの頃である。
- ④ 完全に海が消滅し、周囲の山地が隆起 (多くの断層の形成) 現在の秩父盆地が形成され、出牛―黒谷断層が造った三波川結晶片岩の隆起は標高 767m の大霧山を形成した。

★秩父が湾であった証拠の角礫岩は古秩父湾東縁の断層により陸地が形成された時その陸域から供給されたものである。さらに秩父盆地の再上部の露頭が横瀬川にかかる新田橋直下の右岸で確認することができる。

★以上は 5000 万年前ごろからの地学的考察であるが、現在「地球の窓」と言われる長瀬の結晶片岩地帯は変成岩観察のメッカとして世界中の注目の的になっている。

支流の赤平川右岸は堆積岩観察の宝庫で

1500 万年前に堆積したカニやウニの化石などが含まれる「ようばけ」や海底地滑りの痕跡「スランプ構造」が見られる。

★秩父～志賀坂峠～佐久地方迄50km幅1km強の山中地溝帯では、1億2000年前（白亜紀）の漣痕・恐竜の足跡の化石が断層運動で垂直壁状に露出している。

★越生町の大高取山の摩訶不思議は、縄文海進の遙か前、地殻変動によって古い地層が新しい地層の上に載っている「押し被せ」「クリッペ」「根なし塊」などとも言はれ常識では考えられないことが実際に露頭として観察対称になっている。

第2部 地層逆転の謎

地質学の基本原理 [fundamental principles of geology]

地層累重の法則・堆積水平性の法則 初期連続性の法則・地層断続の法則

堆積してから褶曲したり、逆転して乱されたことのない堆積層ではいかなる場合でも、一番若い層が一番上にあり、一番古い層は基底部にある。

★地層累重の法則がここ大高取山（堂平山）については、当てはまらない、のを「謎！」と云っているにです。付加体理論や押し被せ理論がありますが、同じ逆転でも、大高取山の（クリッペ）と堂平山のとは異なっているという方がおり、難問です！
ここでは推定（仮説）の問題提起を試みた。以上である。
その後質疑応答があり予定通り 21 時に閉会した。

安全登山講演会

「どの山でも登山届を出そう！いざという時にあなたを救う」(1/21)

安全登山委員会

期 日：平成29年1月21日（土）13:30～16:35

場 所：大宮「川鍋ビル8階会議室」

出席者：日本山岳会員（24名） 県内外山岳会・一般（14名） 計38名

講 師：埼玉県警察山岳救助隊の飯田雅彦副隊長

講師の飯田副隊長には、平成23年1月に初めて講演を依頼してから、7年続けてお世話になっている。講演内容は、昨年暮れに発生した、雁坂峠の2名の滑落死亡事故が取り上げられ、登山道を横切る凍結した沢が、滑り台のように下流まで続く現場の映像が映し出された。1名は1mほどの沢を飛び越え無事、後続の1名がアイゼンなしで氷に片足を置き渡ろうとして滑落した。

救助に行った1名も6本アイゼンを付けていたが滑落して命を落としたと説明があった。この場リーダーはロープを張って確保をとってから渡ったり、アイゼンを付けることの必要性を説いた。



埼玉県警察山岳救助隊の飯田雅彦副隊長

昨年は、クマの事故やハチによる死亡事故もあったと説明し、秩父の若神子山にはクマ穴が多くあるので覗いたりしないこと、夏から秋にかけてのハチ対策はハチジェットを首から下げて入山したり、一度ハチに刺された人は病院で抗体検査をし、エビペン持参で山に入ることや、発煙筒を焚いハチジェットを振りかける（山火事防止のため水持参）などの対処法を説明した。また、山でのトレイランニングについて、登山靴だから対処できるエリアなのに獣道に入り滑落して死亡した事例をあげ、衣服、シューズ、非常食持参などの入山するときの基本的な事柄に目を向けてほしいと力説した。

持参した埼玉県山岳救助隊による平成28年度の資料に基づき、生きた題材で映像と共に参加者に訴えかける講演内容は、危機管理と安全登山を深く考えさせられる貴重な3時間であった。以下は、当日ご提出いただいたアンケート・感想です。

【アンケート・感想】

○感想と今後の希望講演内容について

- ・安全に登るためには。山の楽しみを知るためには。(30代女)
 - ・今回のテーマのような話をたくさんききたいです。(50代女)
 - ・セルフレスキューやロープワーク(60代女)
 - ・こうしたことにならないためのアドバイス(60代女)
 - ・次回も同様の講習会を希望します。(60代男)
 - ・怪我の対処法。ビバークの対処法(60代男)
 - ・机上の地図講習。気象の講習会。(60代男)
 - ・高齢者の登山体力作りプログラム。(70代男)
 - ・登山の楽しみなど明るい話を。(70代男)
 - ・今後も様々な事例を啓発のために教えてください。(70代男)
 - ・遭難から教えられること。(80代男)
- アンケートご協力ありがとうございました。

第 3 回森づくり活動報告 (1/22)

自然保護委員会

実施日時 平成 29 年 1 月 22 日 (日) 8 時 15 分集合 30 分開会式～12 時

場 所 さいたま緑の博物館 埼玉県入間市宮寺 889 (集合場所八幡神社)

作業現場 八幡神社(糍谷八幡湿地)を囲む里山

作業内容 八幡神社周辺里山の落ち葉かき・運搬・堆肥作りの木枠内に搬入し米糠と混ぜ・踏み込み集積・2～3 年後に当地の田畑の堆肥として使用

参加者 JAC 埼玉支部 村越・熊谷・朝日

3 名

NP0 埼玉森林サポータークラブ

20 名

所沢市三ヶ島小学校及び八幡神社

自然保護関係団体 約 20 名他

この事業は、NP0 さいたま森林サポートクラブ及び関係団体とのコラボレーションにより、下記の用に実施しました。

当日は快晴に恵まれ、枯葉が申し分なく乾燥しており、落ち葉かきの清々しい音色を里山に響かせながら、落ち葉かき・運搬・堆肥づくり役の各班連携で作業が順調に進んだ。

プロ集団のサポータークラブ、地元の八幡神社周辺の環境を守る自然保護団体の方々、農家の方々、それに所沢市三ヶ島小学校の 3 年生が校長・教師・親と一緒に参加、快活な子供達と家族、先生のチームワークの活躍にも啓発され、和気あいあい活気ある落ち葉かきとなった。



落ち葉を運ぶ小学三年生の働きぶりに驚く

なお、さいたま緑の博物館周辺の植樹は小学生在が秋にクヌギのドングリを持ち帰り、自宅の庭先・畑・鉢等に植え付け翌年に幼木を植樹するが、十数年間継続した結果、植林の場所が無くなり、落ち葉かき体験となったとの事である。世代・組織を越えたコラボの森づくりは親睦を深め、自然保護啓蒙の原点であると云える。昼食は八幡神社周囲の自然保

護関係者からおもてなしあり、けんちん汁・おにぎり・漬物など美味しく有難くご馳走になりました。午後の自然観察会は次回に延期した。



地元おもてなし昼食に

2月四季の山・冬山「霧ヶ峰・蓼科山」 報告(2/11~12)

【山行グレード☆☆☆】

山行委員会 記：平川陽一郎

2月11日(土)~12日(日)の2日間、12名の会員が霧ヶ峰(車山1925m)と蓼科山(2530m)にて雪山登山講習を行いました。

避暑地ハイキングのイメージが強い霧ヶ峰・蓼科山ですが、冬は様相を一変し、強い雪風が吹き荒れ、目印の乏しい霧ヶ峰は正確なルートファインディングが要求される手強い山へと変貌します。

雪山では晴れの日がラッキー、降雪の日が普通の日つまり低温強風、日の出は遅く日没は速く行動可能な時間は短い、ウェアは重ね着し、厚い手袋も装着などで素早く身動き出来ない、などが前提です。

今回は「用具を使いこなす」・「濡らさない・飛ばされない・無くさない」「どの様に行動すれば速く行えるか」という事をテーマに2日間講習を行いました。

初日の2月11日は霧ヶ峰、テーマは「風の対応」。



風強く寒い車山へ

11:00霧ヶ峰ヒュッテ・ジャヴェル集合~12:45ヒュッテ・ジャヴェル出発~13:45車山山頂(1925m)~15:45蝶々深山~16:40ヒュッテ・ジャヴェル(泊)

初日の天気は晴れ、気温は低く若干の風はありますが、この時期の霧ヶ峰としては天候に恵まれた日でした。



車山山頂(1925m)

集合地のヒュッテ・ジャヴェルから、スノーシューを使い、車山の肩を経由して車山山頂から蝶々深山から沢渡りに下ると言う周遊コース。

途中途中では交代してラッセル体験、スノーシューでの急斜面の登下降、行動時や休憩時の強風の対応を体験していただきました。

夜は、ヒュッテ・ジャヴェルの高橋オーナーより霧ヶ峰の歴史や素晴らしさをお話し頂きました。

2日目の12日は蓼科山、テーマは「素早い行動」。

8:10ヒュッテ・ジャヴェル出発～9:20蓼科牧場駐車場～10:00ゴンドラ山頂駅～10:36七合目一ノ鳥居～13:00将軍平・蓼科荘～14:10七合目一ノ鳥居～14:30ゴンドラ山頂駅～15:00蓼科牧場駐車場解散

天候は風も弱く天気は晴れ、天気が良い為か女神茶屋登山口に駐車出来ず、蓼科牧場にコース変更。

このルートは時間も短く蓼科山に登頂出来るルートとして無雪期には人気のあるコースです、冬の女神茶屋ほどの人気ルートではありませんが、登山者は多くははっきりとしたトレースがついていました。

蓼科山では、正しい雪上歩行を身につけていただく為にスノーシューを使わず馬返しまではツボ足、馬返しから将軍平まではアイゼンで登りましたが、スタートが10時と遅く、登行と行動のペースとロープウェイの時間を逆算して将軍平まで下山としました。



蓼科山「将軍平」からの下山

しかし、10時出発でも登行ペースが少々遅くても蓼科山は登頂可能でした。

今回蓼科山に登れないと判断をしたのは、休憩から出発までの時間が掛りすぎていたからです。

休憩の流れは、行動を停止する、雪の足場を固める、ザックを下す、トイレに行く、衣類調整をする、ザックを開ける、行動食を食べる、飲料水を飲む、ザックを閉める、グローブをはめる、身づくろいをする、ザックを

背負う。

などの一連の休憩の流れが、天候の良い無雪期の山と同じ様な時間が掛っておりました。

「稜線から上の気象状況が午後になるとどうなる」「その場合の自分の体力の貯金」など状況と時間想定が出来ていないと判断をし、本当に時間切れになる前に登山行動を終了しました。

登行に時間が掛るのは体力と年齢的にある程度仕方ありませんが、休憩に時間が掛るのは違います。

時期や時間や気象状況など、自分がおかれている自然環境の想定範囲を広くしてみる事が肝心かと考えます。

ご自身の準備が遅くなると、準備が出来ている人の体が冷える、自分の体も冷える、行動時間の余裕が無くなる、などの影響が出来ます。

休憩地での10分づつの遅れが、6回の休憩で1時間の遅れになる事をご理解下さい。

雪山では、特にその様に考えて行動の段取りをする事で効率的になり迅速に行動が出来る様になります。

次の行動の予測をする、逆算して時間を管理する事は、自立する登山者になる為の第一歩です。

これらを身につけて、「安全で自立した登山者」になる様にご自身の個人山行でトレーニングをしましょう。

安全登山講習会

「登山で事故！さあ どうする！！」(2/26)

安全登山委員会

日 時：平成29年 2 月 26 日（土）9：00～
16：20、

場 所：大宮川鍋ビル 8 階会議室

参加者：25 名（日本山岳会員 19 名、一般
6 名）

講習：午前の部講師 恵秀彦氏（MF A インストラクター、日山協遭難対策委員）
 午後の部講師 渡邊浩氏（日本赤十字社救急法指導員、日本体育協会山岳スポーツ指導者）

【報告】

午前、救急救助の手順や怪我の応急手当をパワーポイントの映像で説明した後、グループに分かれて、連結したザックで担架を作り負傷者を運んだり、サムスプリントを利用して、骨折した足や腕を固定する方法を学んだ。まとめとして、登山道から転落しけがを負った滑落者の救出を救助の手順から怪我の応急処置、搬送までを実践することが出来た。



恵講師による怪我の応急処置

午後の部は、心肺蘇生法の練習を、人形を使って胸骨圧迫 30 回、人口呼吸 2 回を繰り返し、AED を人形の体に装着しての実技を学んだり、毛布を利用した担架によって傷病者を搬送する方法を学んだ。シュミレーションは登山道に倒れていた登山者を毛布の担架に乗せて山小屋まで運び、呼びかけに反応のなくなった遭難者に心肺蘇生をする実技が行われた。

講習終了後は、出血と心肺停止の時の優先順位は？（まず心臓マッサージをする。）や止血方法など多くの質問が参加者から寄せられた。実技中心のケーススタディー形式で臨場感に溢れた活発な講習会になった。

アンケートでも極めて有意義で継続を望む声が多く寄せられた。



渡邊講師指導「毛布を利用した担架搬送」

登山教室指導者養成講習会から 学んだこと（3/4・5）

記：高橋 努

日程：平成 29 年 3 月 4 日（土）・5 日（日）
 場所：安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター（長野県小諸市）及び東麓ノ登山

参加者：青木、宮川、清登、古川、高橋
 5 名

日本山岳会支部事業委員会が主催する登山教室指導者養成講習会は第 5 回目で今まで各支部の登山教室運営に貢献してきたものと思う。埼玉支部では昨年 3 名、本年 5 名が参加し多くの知見を学ぶことができた。1 日目の座学では、長野県警山岳救助隊弦間副隊長から遭難実態からの興味深い事例が紹介され、ヤマテン代表気象予報士猪熊隆之講師からは実に要点をついた山岳気象の読み方の講習があった。最後に黒沢徹ガイドから明日の実施講習を踏まえた登山リーダーに関するあるべき姿などについてお話を伺った。



雪上実技講習

2 日目は好天に恵まれアサマ 2000 パーク スキー場から水ノ塔山、東麓ノ登山を往復登山での実地講習である。22 名の参加者が順繰りに C L, S L を交代しながらリーダーとしての判断ややるべきことを自分で考えながらリードするという方式で、適宜ガイドからの確かなアドバイスやレクチャーを受けながら緊張感のある講習であった。



座学：山岳気象講義

登山教室の参加者に対して、いかにして安全で楽しい登山をリードし、自立した登山者に育てていったらいいのか、示唆に富む講習になった。9 支部からの参加者はいずれも真摯に登山教室の運営に参画しようという意欲が感じられ、特に東京多摩支部から支部登山教室卒業生の女性が 3 名参加されており（お若い！）、その前向きな意欲には感銘を受けた。埼玉支部でもいずれそのような日が来ることを期待したい。

3 月月例山行

弓立山（426.9m）（3/5）

【山行グレード☆】

記：山崎保夫 写真：稲越洋一

チーフリーダー山崎保夫 コースリーダー

吉田寛治 カメラ 稲越洋一

1、期 日：平成 29 年 3 月 5 日（日）

2、場 所：越生：「弓立山」（426.9m）

3、行動記録：晴れ 9:30 明覚駅集合→9:35 山行開始→10:30 弓立山・男鹿岩登山口→11:10 男鹿岩→11:20 弓立山頂上(集合写真)→12:00 いこいの里「大附」→12:30 上谷の大クス(昼食) 13:10 出発 →13:50 越生梅林→14:30 蕎麦処「よしひろ」(打ち上げ・軽食)→16:00 越生駅(解散)

4、報告

弓立山の呼び名の由来と眺望が良く低山ハイキングと申し込みを呼びかけたところ、参加者 15 名（男性 11 名、女性 4 名）と多くの参加申し込みがあった。

9 時 30 分に全員が明覚駅に集合。体操後、山行開始。山行は吉田さんにコースリーダー、写真撮影は稲越さんに依頼。

【明覚駅前】

“陽光うららか” というのは、今日のような天気を指すのだろうと思う。田んぼは春の農作業が始まっているようだ。道路脇には春の気配が感じられる草花もちろほ見える。山行開始から 1 時間程度が過ぎ、登山道入口についた。ここで、休憩を兼ね衣服調整を行う。いきなりの階段登山口。ゆっくりと一歩ずつ進む。途中、気持ちのよい風が身体を巻くように過ぎる。



明覚駅前

【登山道】

11 時 10 分に「男鹿岩」に到着。小休止後、出発。10 分ほどで、視界が一気に開け、弓立山頂上に到着。眼前に越生の街並が見える。遠くの山並はうっすらと、春霞の影響かもしれない。眺望が良ければ遠くにスカイツリーも見えたかもしれない。



登山道

【男鹿岩】

記念撮影後、出発。登山道、車道を下り、12 時にいこいの里「大附」に着きここで小休止。あたりを見回すとゆずの実が樹の下に数多く、落下している。そんなゆずの実を見ながら、車道を歩く。



上谷の大きくす



男鹿岩

【弓立山山頂】

12 時 30 分「上谷の大きくす」に到着。この大きくすは樹齢が 1,000 年以上にもなり、幹回り 15 m、高さ 30 m の巨木でした。この大きくすの下でお弁当タイム。山行で唯一の楽しみ、昼食を堪能しました。

少しゆっくりめの休憩後、出発。車道を下り、越生の梅林に 13 時 50 分着、天気も良く、梅も満開とあって、見物客で溢れており、車道は渋滞。バスには乗車せず、歩くことにした。蕎麦処「よしひろ」に 14 時 30 分に到着。ここで、打ち上げを兼ねた懇親会。蕎麦とお酒と山行の話に春らしく、花が咲いた。



弓立山山頂

【上谷の大きくす】

15 時 40 に店を出て、越生駅に 16 時に到着。ここで解散となる。お疲れ様でした。

平成 29 年度公益社団法人日本山岳会埼玉

支部予定 4 月～9 月（上半期）（案）

月	日・曜日	担	摘 要	開始時間
4 月	9 日（日）	社	障がい者ふれあい登山（天覧山・多峯主山）	
	13 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
	15 日（土）	総	埼玉支部総会・懇親会（埼玉会館）	13:30
	16 日（日）	山	総会記念山行（大峰山・吾妻耶山）	
	29 日（土）～30 日（日）	自	森づくり研修会（高尾グリーンセンター）	
5 月	未定	総	三支部合同登山（神奈川支部担当）	
	11 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
	13 日（土）	自	第 5 回大高取山自然観察会（事前踏査）	
	14 日（日）	自	第 5 回大高取山自然観察会（実施日）	
	20 日（土）～21 日（日）	山	四季の山・春山（女峰山・大真名子・小真名子）	
	28 日（日）	自	第 1 回森づくり&自然観察会（狭山緑の森博物館周辺）	
6 月	1 日（木）	総	第 21 号支部報発行	
	3 日（土）	安	安全登山講習会「ハイレス講習」（飯能周辺）	9:00
	4 日（日）	山	月例山行（武川岳）	
	10 日（土）～11 日（日）	自	玉原高原（ブナ林&自然観察会）	
	11 日（日）	山	沢登り山行（西沢・沢胡桃沢）	
	15 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
	30 日（金）	総	支部年度会費納入締切日	
7 月	1 日（土）～2 日（日）	山	月例山行（平ヶ岳）	
	13 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
8 月	4 日（金）～6 日（日）	山	四季の山・夏山（鳥海山）	
	11 日（祝）	山	山の日（企画未定）	
	17 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
9 月	2 日（土）	山	月例山行（箱根明神ヶ岳、明星ヶ岳）	
	14 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
	20 日（水）	安	安全登山講習会（講師・平川ガイド）	19:00

平成 29 年度公益社団法人日本山岳会埼玉

支部予定 10 月～3 月（下半期）（案）

月	日・曜日	担	摘 要	開始時間
10 月	9 月 30 日（土）～10 月 1 日（日）	山	月例山行（天城山）	
	1 日（日）	総	第 22 号支部報発行	
	8 日（日）	自	第 2 回森づくり&自然観察会（越生町ふれあいの里）	
	12 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
	13 日（金）～14 日（土）	支	JAC 全国支部懇談会（茨城支部担当）	
	15 日（日）	山	岩登り山行（場所未定）	
	21 日（土）～22 日（日）	自	第 6 次シカ・クマノ生態系調査（小鹿野町天理岳北斜面）	
	22 日（日）	安	安全登山実地講習会（指導・埼玉県警）	
	3 日（金祝）～4 日（土）	山	四季の山・秋山（十文字峠から栃本）	
	9 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
11 月	9 日（土）～10 日（日）	山	忘年山行・忘年懇親会（小高山、正丸峠）	
12 月	14 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
1 月	1 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
	13 日（土）	山	新年山行・新年懇親会（スカリ山、日和田山）	
	20 日（土）	安	安全登山講演会「埼警山隊講話」（会場未定）	13:00
2 月	1 日（木）	総	第 23 号支部報発行	
	15 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30
	17 日（土）～18 日（日）	山	四季の山・冬山（場所未定）	
	25 日（日）	安	安全登山講習会「登山中の事故対処」（会場未定）	9:00
3 月	3 日（土）	山	定例山行（場所未定）	
	15 日（木）	支	支部委員会（浦和野村ビル）	18:30

- 1) 凡例：支→支部委員会 山→山行委員会
 安→安全登山委員会 自→自然保護委員会
 社→社会貢献委員会 広→広報委員会
 総→総務委員会

2) 原則定例会議日：支部委員会→毎月第 2 木曜日 18:30 浦和野村ビル 3 階

山行委員会→毎月第 2 火曜日 19:00 浦和パルコ 9 階

自然保護委員会→毎月第 2 水曜日 18:00 浦和パルコ 9 階

安全登山・社会貢献・広報・総務の各委員会→不定期

3) 埼玉支部年度予定は、変更もありますので事前に H P ・各委員会迄ご確認ください。

平成 29 年 4 月 1 日

公益社団法人日本山岳会埼玉支部

**不思議・オモシロい・楽しい 埼玉の
自然探訪 如何！
自然保護委員会へ well come !**

地域おこしの「お手伝い」もしています！

浦和駅前パルコ9階フリースペースで第2・
月曜日 PM6.30~8.00 が例会です。

出席自由（連絡はメールで配信されます）山
岳会員の場合会費は無料です

会員になるには要「会友資格：年間¥3000、
又は会員資格：年間¥12,000」

★入会は支部事務局でも扱っています：

f8008pk@rock.odn.ne.jp（古川史典局長）

【主な年間活動計画】

①森づくり&自然観察会（春・秋 狭山丘陵
緑の博物館）小学生植林地の下草刈他
越生町ふれあいの里）除伐・間伐[森林サ
ポータクラブ共催

高尾の森づくり研集会&自然観察会（高尾
グリーンセンター泊・4月29~30日）

②絶滅危惧種撮影会（不定期・横瀬、山の
花道付近、大高取山麓）

③シカ食害調査（秋・外秩父山地・上武山地
温泉泊）

④ブナ林・湿原観察会（初夏または秋の玉原
湿原・ブナ林観察会6月10~11日温泉泊）

⑤大高取山自然観察会（越生町教育委員会後
援・5月14日）植物・史学・地学

⑥不定期会 初夏 or 晩秋 北本自然観察公
園の専門員による植物・野鳥・昆虫研修会

⑦機関紙「森と清流」旬間発行
サポート活動：毎年4月に行われる社会貢
献委員会主催の障がい者「ふれあい登山」

◎自然保護委員会事務局

〒338-0001 さいたま市中央区上落合 4-3-4

委員長 高嶋徳紘

☎048-859-1331 Fax:048-859-5001

Email:paramitayam.t.t@gmail.com

平成29年度支部総会のお知らせ

平成29年3月吉日

会員・会友各位

公益社団法人日本山岳会埼玉支部
支部長 松本敏夫

平成29年度支部通常総会の開催について（お知らせ）

向春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、支部活動へのご参加、運営へのご協力をいただき、ありがとうございます。

平成28年度は支部設立7周年記念事業としての海外登山の実施や「山の日」制定記念事業への参画など、各種事業を多くの会員のご協力・ご参加のもとに実施することができました。平成29年度は、さらに多くの会員が連携し、より積極的な支部活動へ繋げていきたいと思います。

つきましては、下記のとおり平成29年度通常総会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、総会後に懇親会を開催しますので、多くの会員のご参加をお待ちしております。

記

1 期日 平成29年4月15日（土）13時30分~15時

2 場所 埼玉会館 4階 A会議室

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目1-4（京浜東北線 浦和駅下車 西口を県庁方面へ徒歩6分）

3 議題

(1) 議事

1) 平成28年度事業報告（案）及び決算報告（案）について

2) 支部役員（案）について

3) 平成29年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

4) 支部規約の改正について

(2) 報告事項等

1) 埼玉支部会友制度について

2) 新入会員増加策について

4 その他

1) 出欠席については出欠表（裏面支部会員アンケート）にて、4月2日（日）までにご返

信ください。

欠席の方は、必ず委任事項をご記入の上、ご返信ください。（出席予定者も念のためご記入

ください）

2) 当日、平成29年度支部年会費2,000円を、会友年会費3,000円を申し受けます。

5 懇親会のご案内

1) 時 間 16時 ~ 17時30分

2) 場 所 埼玉会館内2階「パーティールーム」

3) 会 費 4,000円

4) 内 容 新入会員紹介、各委員会メンバー紹介、会員活動紹介など。

6. 記念山行

実施日 4月16日（日）大峰山-吾妻耶山 ※4月9日（日）は、ふれあい登山を実施。

* 詳細は別途お知らせします。

7. 連絡先

総会・懇親会共：埼玉支部事務局長古川迄。電話 090-3219-0860e-

mail:f8008pk@rock.odn.ne.jp

事務局からのお知らせ

準会員制度について

平成18年10月1日より公益社団法人日本
山岳会の準会員制度が始まりました。（公益
社団法人日本山岳会 HP より抜粋）

2016年10月1日から「準会員制度」スタ
ートしました。「準会員制度」は、一定の
期間、当会の活動に触れて理解した上で、通
常会員に移行していただく新たな制度で、入
会金・会費や手続きなどのハードルを低くし、
入会しやすくしました。

■準会員制度の概要

1 入会資格：日本山岳会の趣旨に賛同する
個人（年齢制限はありません）

2 準会員の期間：3年間（期限内に会員に

移行しない場合は除籍になります)

- 3 準会員入会金：5,000 円（ただし、26 歳未満は入会金免除します）
 - 4 準会員年会費：6,000 円（初年度は入会月により月割があります）
 - 5 入会手続き：入会申込書に、会員 1 名の紹介が必要です。
会員に知り合いがない場合は、当会ホームページの「支部一覧」をご覧ください、お住まいの近くの支部にご連絡いただくか、「入会について」をご覧ください「入会申込みアンケート」にお答えください。当会の会員をご紹介します。
 - 6 正会員との違い：総会での議決権はありません。本部・支部の役員には就任できません。
 - 7 会報「山」：毎月、送付します。
 - 8 機関誌「山岳」：有料販売になります。
 - 9 特典など：原則として正会員と同じです。
- ※詳細は、公益社団法人日本山岳会のホームページか日本公益社団法人日本山岳会事務局へお問い合わせください。

埼玉支部スキー同好会 第一回 スキー会報告

記：古川史典

開催日：平成 29 年 3 月 8 日（水）

開催場所：群馬県丸沼高原スキー場

参加者：4 名

報告：昨年 4 月に設立された、「登る方はそろそろかな？でも下る方はまだまだ」を合言葉に支部で一番新しい同好会です。今回は、第一回として日帰りで場所は登山ではおなじみの日光白根山の麓のスキー場を選びました。当初参加予定者は 7 名でしたが諸藩事情で 4 名となりましたが、青空の下パウダースノーとスキーと温泉を満喫した会が開けました。来年も開催しますので皆さん参加ください。

埼玉支部会員/会友在籍者数及び異動

会員	135名	会友	11名	計	146名
【入 会】					
会 員			会 友		
16104	花崎千恵	11月			
15838	米山英三	11月			
16125	飯塚雅信	2月			
【退 会】					
会 員			会 友		
6349	田部井淳子	11月	K0018	中山茂樹	2月
12711	宮崎孝	3月			

平成 29 年 3 月 9 日現在

住所、電話、メールアドレス等の変更がありましたら事務局にご連絡をお忘れなく



猪狩山頂上から両神山を望む

作：会員 川村利子氏（JAC 埼玉会員）

公益社団法人日本山岳会埼玉支部報第 20 号
平成 29 年（2017）3 月 15 日発行
発行者：公益社団法人日本山岳会 埼玉支部
支部長 松本敏夫
事務局：350-0312 埼玉県比企郡鳩山町鳩ケ丘
1-25-10 古川方
電 話：090-3219-0860
Email: f8008pk@rock.odn.ne.jp
埼玉支部ホームページ：
<http://www.jac.or.jp/saitamasibu/index.html>